

令和6年度宮城県利府高等学校生徒募集要項

普通科

I. 課程・学科・定員

1. 課程 全日制課程
2. 学科 普通科
3. 定員 男女計200名

II. 入学者選抜（「令和6年度宮城県立高等学校入学者選抜方針」ならびに「宮城県公立高等学校入学者選抜要項」による）

(1)出願資格

出願時点で高等学校、中等教育学校の後期課程、高等専門学校及び特別支援学校高等部のいずれにも在学していない者で、次の①から④のいずれかに該当する者とする。

- ①中学校又はこれに準ずる学校を卒業又は令和6年3月卒業見込みの者
- ②義務教育学校を卒業又は令和6年3月卒業見込みの者
- ③中等教育学校の前期課程を修了又は令和6年3月修了見込みの者
- ④学校教育法施行規則第95条の規定により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

(2)出願手続

志願者は、次の①を中学校長へ提出する。中学校長は提出された書類に②から⑤の書類を加えて本校校長に提出する。

①入学願書及び写真票

入学者選抜手数料として、宮城県収入証紙（2,200円）を貼付すること。

（注意1）収入証紙に消印・割印しないこと。

（注意2）出願に際しては、本校スポーツ科学科を第2志望とすることができる。よって、普通科が不合格となった場合でも、第2志望のスポーツ科学科に合格することがある。

（注意3）本校スポーツ科学科を第2志望とする場合は、願書右下（第2志望欄の右側）に、別紙の記入例を参考に「専攻実技」種目名を明記すること。なお、競技によって、ポジション毎又は種目毎に検査内容と評価の観点が異なるため、次の種目については、別紙の記入例を参考に、専攻実技名とともにポジション名又は種目名を記入すること。

（ア）ポジション名を記入する競技

- ・ハンドボール＝ 「コートプレイヤー」、「ゴールキーパー」から1つを選択
- ・サッカー＝ 「フィールドプレイヤー」、「ゴールキーパー」から1つを選択
- ・バレーボール＝ 「スパイカー」、「セッター・リベロ」から1つを選択
- ・ソフトテニス＝ 「前衛」、「後衛」から1つを選択
- ・ソフトボール＝ 「投手」、「内外野手」から1つを選択

（イ）種目名を記入する競技

- ・陸上競技＝ 「短距離走」、「ハードル走」、「長距離走」、「走り幅跳び」、「走り高跳び」、「投てき」から1つを選択
- ・水泳＝ 「競泳」、「飛込」から1つを選択

※「専攻実技」とは、体育実技検査で実施する種目であり、本校で3年間専門に学ぶ実技科目で、入学後に所属する運動部と同一種目である。

本校で開設する「専攻実技」種目は次の通りである。

男子：陸上競技、水泳、バスケットボール、ハンドボール、サッカー、ラグビー、卓球、ソフトテニス、硬式テニス、硬式野球、剣道、弓道、フェンシング

以上13種目

女子：陸上競技、水泳、バスケットボール、バレーボール、卓球、ソフトテニス、硬式テニス、ソフトボール、剣道、弓道、新体操、フェンシング

以上12種目

②調査書（様式B）

※ただし、調査書の「6 欠席の状況」等において特別な事情がある場合は、副申書を添付することができる。なお、詳細は「令和6年度宮城県公立高等学校入学者選抜要項」を参照のこと。

③出願者一覧表（様式C）1通

④受験票等送付用封筒 1通（角形2号）

※ただし、郵送を希望する場合のみ提出すること。

簡易書留速達郵便料金分の切手を貼付し、中学校長名、住所、郵便番号等を明記したもの。

⑤結果通知用封筒 1通（角形2号）

※ただし、第一次募集結果通知書（様式G）及び合格通知書（様式H）の郵送を希望する場合のみ提出すること。

簡易書留速達郵便料金分の切手を貼付し、中学校長名、住所、郵便番号等を明記したもの。

(3)出願期間

①出願受付期間

2月13日(火)から2月16日(金)までとする。

②出願受付時間

午前9時から午後4時までとする。

ただし、2月16日(金)は午前11時までとする。郵送の場合も、2月16日(金)は午前11時までに必着のこと。なお、出願書類の提出を郵送により行う場合は簡易書留とし、封筒に「**第一次募集願書在中**」と朱書すること。

(4)学力検査

①学力検査は、3月5日(火)に本校において実施する。

②学力検査を実施する教科は、国語、数学、社会、英語及び理科とする。

③受付時間や学力検査の日程は、宮城県教育委員会が定めたとおりとする。

(5)体育実技[本校スポーツ科学科を第2志望とする生徒のみ]

①体育実技は、3月6日(水)に本校ならびに校外の施設（一部の体育実技のみ）で実施する。

②体育実技の実施時間等については、出願受付の際に配布する（郵送の場合は同封する）文書で中学校長を通じて受験者に通知する。

③体育実技は、出願時に願書に記入した専攻実技種目（一部の競技についてはポジション別又は種目別）における技術・能力をみる検査である。体育実技検査の時間は90分程度とする。ただし、検査会場への移動や準備運動を含め、種目によって体育実技全体の所要時間が90分を超える場合がある。又、種目によって検査終了時間も異なる。なお、体育実技の内容は中学校の学習指導要領に沿ったものとなるため、下記の留意事項に注意すること。又、種目毎に持参する用具は別紙資料を確認すること。

●専攻実技種目毎に技術や能力をみる検査

○陸上競技

「短距離走」、「ハードル走」、「長距離走」、「走り幅跳び」、「走り高跳び」、「投てき」の中から1つを選択する。なお、「投てき」については、『体づくり運動（力強い動きを高める運動）』の領域から、投てきに必要な運動を行い、その能力をみる。

○水泳

「競泳」、「飛込」の中から1つを選択する。なお、「飛込」については、『水泳』と『器械運動（マット運動）』の領域からその種目に必要な運動を行い、その能力をみる。

○バスケットボール

技能能力全般を見る。

○ハンドボール

「コートプレイヤー」と「ゴールキーパー」のどちらか1つを選択する。

○サッカー

「フィールドプレイヤー」と「ゴールキーパー」のどちらか1つを選択する。

○ラグビー

『体づくり運動（巧みな動きを高めるための運動、力強い動きを高めるための運動）』の領域から、ラグビーに必要な運動を行い、その能力をみる。

○バレーボール

「スパイカー」、「セッター・リベロ」の中からどちらか1つを選択する。

○卓球

特になし

○ソフトテニス

「前衛」と「後衛」のどちらか1つを選択する。

○硬式テニス

特になし

○ソフトボール

「投手」と「内外野手」のどちらか1つを選択する。

○硬式野球

『球技・ベースボール型（ソフトボール）』の領域から、硬式野球に必要な運動を行い、その能力をみる。なお、使用するボールはソフトボールとする。ただし、グローブ等の用具は現在使用している野球用のもので構わないので、改めてソフトボール用の用具を準備する必要はない。

○剣道

特になし

○弓道

『体づくり運動（動きを持続する能力を高めるための運動、力強い動きを高めるための運動）』の領域から、弓道に必要な運動を行い、その能力をみる。

○新体操

『体づくり運動（体力を高めるための運動）』と『器械運動（マット運動）』及び『ダンス（表現）』の領域から、新体操に必要な運動を行い、その能力をみる。

○フェンシング

『体づくり運動（巧みな動きを高めるための運動、動きを持続する能力を高めるための運動）』の領域から、フェンシングに必要な運動を行い、その能力をみる。

(6-1)追試験[本校普通科のみ志望する生徒]

- ①学力検査は、3月8日(金)に本校において実施する。
- ②追試験は、第一次募集検査当日に学力検査を欠席した者で、次のいずれかに該当する者を対象として実施する。
 - (イ) インフルエンザ等の感染症等の罹患者及びその症状のある者
 - (ロ) その他やむを得ない事由のある者
- ③追試験における学力検査は、第一次募集に準じて実施する。
- ④実施時間等は、中学校を通じて、受験生に通知する。

(6-2)追試験[本校スポーツ科学科を第2志望とする生徒のみ]

- ①学力検査は、3月8日(金)に本校において実施する。
- ②体育実技は、3月11日(月)に本校ならびに校外の施設(一部の体育実技のみ)で実施する。
- ③追試験は、学力検査や体育実技を欠席した者で、次のいずれかに該当する者を対象として実施する。
 - (イ) インフルエンザ等の感染症等の罹患者及びその症状のある者
 - (ロ) その他やむを得ない事由のある者
- ④学力検査と体育実技のいずれかの日程を欠席した場合には、欠席した日に実施された学力検査や体育実技についてのみ追試験を実施する。
- ⑤追試験における学力検査は、第一次募集に準じて実施する。
- ⑥実施時間等は、中学校を通じて、受験生に通知する。

(7)選抜方法等について

- ①共通選抜、特色選抜の順に行う。
- ②共通選抜の対象は、募集定員の70%の140人とする。
- ③共通選抜は、学力検査点(500点満点)と調査書点(195点満点)の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は6:4とする。
※調査書点:「5教科(国・数・社・英・理)の各学年の評定の合計」+「4教科(音・美・保体・技家)の各学年の評定の合計×2」
- ④特色選抜の対象は、募集定員の30%の60名とする。
- ⑤特色選抜は、学力検査点(500点満点)と調査書点(195点満点)の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて、求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。
※調査書点:「5教科(国・数・社・英・理)の各学年の評定の合計」+「4教科(音・美・保体・技家)の各学年の評定の合計×2」
※求める生徒像

本校は、「心身の健康」、「徳性の涵養」、「知性の啓発」という三つの校訓を掲げ、「質の高い文武両道」の実践をとおして、未来に向かって力強く前進する知・徳・体の調和のとれた人間の育成を目指しています。

部活動が非常に盛んである本校では、文武両道の理念の下、入学後も学習や部活動に積極的に取り組むことができる、次の1～3のいずれかに当てはまる生徒を求めます。

- 1 学習成績が優秀であり、学業と部活動の両立を目指す生徒
- 2 部活動または、文化活動、スポーツ活動等において、優れた資質を有する生徒や実績をもつ生徒
- 3 地域社会との連携に根ざした学習活動や探究活動に意欲的に取り組む生徒

(8)結果通知等

- ①校長は選抜の結果を、3月14日(木)午後3時に、第一次募集結果通知書(様式G)及び合格通知書(様式H)を中学校長に通知する。
- ②合格者の発表は、3月14日(木)午後3時に本校において行う。
- ③合格者に対する入学準備物の受取についての文書及び簡易開示についての文書は、3月5日(火)学力検査終了後に受験者に直接配布する。

令和6年度宮城県利府高等学校生徒募集要項

スポーツ科学科

I. 課程・学科・定員

1. 課程 全日制課程
2. 学科 スポーツ科学科
3. 定員 男女計80名

II. 入学者選抜（「令和6年度宮城県立高等学校入学者選抜方針」ならびに「宮城県公立高等学校入学者選抜要項」による）

(1) 出願資格

出願時点で高等学校、中等教育学校の後期課程、高等専門学校及び特別支援学校高等部のいずれにも在学していない者で、次の①から④のいずれかに該当する者とする。

- ①中学校又はこれに準ずる学校を卒業又は令和6年3月卒業見込みの者
- ②義務教育学校を卒業又は令和6年3月卒業見込みの者
- ③中等教育学校の前期課程を修了又は令和6年3月修了見込みの者
- ④学校教育法施行規則第95条の規定により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

(2) 出願手続

志願者は、次の①を中学校長へ提出する。中学校長は提出された書類に②から⑤の書類を加えて本校校長に提出する。

① 入学願書及び写真票

入学者選抜手数料として、宮城県収入証紙（2,200円）を貼付すること。

（注意1）収入証紙に消印・割印しないこと。

（注意2）出願に際しては、本校普通科を第2志望とすることができる。よって、スポーツ科学科が不合格となった場合でも、第2志望の普通科に合格することがある。

（注意3）願書右下（第2志望欄の右側）に、別紙の記入例を参考に「専攻実技」種目名を明記すること。なお、競技によって、ポジション毎又は種目毎に検査内容と評価の観点が異なるため、次の種目については、別紙の記入例を参考に、専攻実技名とともにポジション名又は種目名を記入すること。

（イ）ポジション名を記入する競技

- ・ハンドボール＝ 「コートプレイヤー」、「ゴールキーパー」から1つを選択
- ・サッカー＝ 「フィールドプレイヤー」、「ゴールキーパー」から1つを選択
- ・バレーボール＝ 「スパイカー」、「セッター・リベロ」から1つを選択
- ・ソフトテニス＝ 「前衛」、「後衛」から1つを選択
- ・ソフトボール＝ 「投手」、「内外野手」から1つを選択

（イ）種目名を記入する競技

- ・陸上競技＝ 「短距離走」、「ハードル走」、「長距離走」、「走り幅跳び」、「走り高跳び」、「投てき」から1つを選択
- ・水泳＝ 「競泳」、「飛込」から1つを選択

※「専攻実技」とは、体育実技検査で実施する種目であり、本校で3年間専門に学ぶ実技科目で、入学後に所属する運動部と同一種目である。

本校で開設する「専攻実技」種目は次の通りである。

男子：陸上競技、水泳、バスケットボール、ハンドボール、サッカー、ラグビー、卓球、ソフトテニス、硬式テニス、硬式野球、剣道、弓道、フェンシング

以上 13 種目

女子：陸上競技、水泳、バスケットボール、バレーボール、卓球、ソフトテニス、硬式テニス、ソフトボール、剣道、弓道、新体操、フェンシング

以上 12 種目

②調査書（様式B）

※ただし、調査書の「6 欠席の状況」等において特別な事情がある場合は、副申書を添付することができる。なお、詳細は「令和6年度宮城県公立高等学校入学者選抜要項」を参照のこと。

③出願者一覧表（様式C） 1通

④受験票等送付用封筒 1通（角形2号）

※ただし、郵送を希望する場合のみ提出すること。

簡易書留速達郵便料金分の切手を貼付し、中学校長名、住所、郵便番号等を明記したもの。

⑤結果通知用封筒 1通（角形2号）

※ただし、第一次募集結果通知書（様式G）及び合格通知書（様式H）の郵送を希望する場合のみ提出すること。

簡易書留速達郵便料金分の切手を貼付し、中学校長名、住所、郵便番号等を明記したもの。

(3)出願期間

①出願受付期間

2月13日(火)から2月16日(金)までとする。

②出願受付時間

午前9時から午後4時までとする。

ただし、2月16日(金)は午前11時までとする。郵送の場合も、2月16日(金)は午前11時までに必着のこと。なお、出願書類の提出を郵送により行う場合は簡易書留とし、封筒に「第一次募集願書在中」と朱書すること。

(4)学力検査

①学力検査は、3月5日(火)に本校において実施する。

②学力検査を実施する教科は、国語、数学、社会、英語及び理科とする。

③受付時間や学力検査の日程は、宮城県教育委員会が定めたとおりとする。

(5)体育実技

①体育実技は、3月6日(水)に本校ならびに校外の施設（一部の体育実技のみ）で実施する。

②体育実技の実施時間等については、出願受付の際に配布する（郵送の場合は同封する）文書で中学校長を通じて受験者に通知する。

③体育実技は、出願時に願書に記入した専攻実技種目（一部の競技についてはポジション別又は種目別）における技術・能力をみる検査である。体育実技検査の時間は90分程度とする。ただし、検査会場への移動や準備運動等を含め、種目によって体育実技全体の所要時間が90分を超える場合がある。又、種目によって検査終了時間も異なる。なお、体育実技の内容は中学校の学習指導要領に沿ったものとなるため、下記の留意事項に注意すること。又、種目毎に持参する用具は別紙資料を確認すること。

●専攻実技種目毎に技術や能力をみる検査

○陸上競技

「短距離走」、「ハードル走」、「長距離走」、「走り幅跳び」、「走り高跳び」、「投てき」の中から1つを選択する。なお、「投てき」については、『体づくり運動（力強い動きを高める運動）』の領域から、投てきに必要な運動を行い、その能力をみる。

○水泳

「競泳」、「飛込」の中から1つを選択する。なお、「飛込」については、『水泳』と『器械運動（マット運動）』の領域からその種目に必要な運動を行い、その能力をみる。

○バスケットボール

技能能力全般を見る。

○ハンドボール

「コートプレイヤー」と「ゴールキーパー」のどちらか1つを選択する。

○サッカー

「フィールドプレイヤー」と「ゴールキーパー」のどちらか1つを選択する。

○ラグビー

『体づくり運動（巧みな動きを高めるための運動、力強い動きを高めるための運動）』の領域から、ラグビーに必要な運動を行い、その能力をみる。

○バレーボール

「スパイカー」、「セッター・リベロ」の中からどちらか1つを選択する。

○卓球

特になし

○ソフトテニス

「前衛」と「後衛」のどちらか1つを選択する。

○硬式テニス

特になし

○ソフトボール

「投手」と「内外野手」のどちらか1つを選択する。

○硬式野球

『球技・ベースボール型（ソフトボール）』の領域から、硬式野球に必要な運動を行い、その能力をみる。なお、使用するボールはソフトボールとする。ただし、グローブ等の用具は現在使用している野球用のもので構わないので、改めてソフトボール用の用具を準備する必要はない。

○剣道

特になし

○弓道

『体づくり運動（動きを持続する能力を高めるための運動、力強い動きを高めるための運動）』の領域から、弓道に必要な運動を行い、その能力をみる。

○新体操

『体づくり運動（体力を高めるための運動）』と『器械運動（マット運動）』及び『ダンス（表現）』の領域から、新体操に必要な運動を行い、その能力をみる。

○フェンシング

『体づくり運動（巧みな動きを高めるための運動、動きを持続する能力を高めるための運動）』の領域から、フェンシングに必要な運動を行い、その能力をみる。

(6)追試験

- ①学力検査は、3月8日(金)に本校において実施する。
- ②体育実技は、3月11日(月)に本校ならびに校外の施設（一部の体育実技のみ）で実施する。
- ③追試験は、学力検査や体育実技を欠席した者で、次のいずれかに該当する者を対象として実施する。
 - (ホ) インフルエンザ等の感染症等の罹患者及びその症状のある者
 - (ハ) その他やむを得ない事由のある者
- ④学力検査と体育実技のいずれかの日程を欠席した場合には、欠席した日に実施された学力検査や体育実技についてのみ追試験を実施する。
- ⑤追試験における学力検査は、第一次募集に準じて実施する。
- ⑥実施時間等は、中学校を通じて、受験生に通知する。

(7)選抜方法等について

- ①共通選抜、特色選抜の順に行う。
- ②共通選抜の対象は、募集定員の10%の8名とする。
- ③共通選抜は、学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を基に実技の評価も加えて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は5：5とする。
※調査書点：「5教科（国・数・社・英・理）の各学年の評定の合計」＋「4教科（音・美・保体・技家）の各学年の評定の合計×2」
- ④特色選抜の対象は、募集定員の90%の72名とする。
- ⑤特色選抜は、学力検査点（250点）、調査書点（225点）及び実技の得点（250点）を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。
※学力検査点：「5教科（国・数・社・英・理）の得点×0.5」
※調査書点：「5教科（国・数・社・英・理）の各学年の評定の合計」＋「3教科（音・美・技家）の各学年の評定の合計×2」＋「保体の各学年の評定の合計×4」
※求める生徒像

本校は、「心身の健康」、「徳性の涵養」、「知性の啓発」という三つの校訓を掲げ、「質の高い文武両道」の実践をとおして、未来に向かって力強く前進する知・徳・体の調和のとれた人間の育成を目指しています。

スポーツ科学科では、体育・スポーツの分野に強い関心があり、入学後は学習に励みながら、運動部の中心として3年間同一の運動部で積極的に活動することができる、次の1～5のいずれかに当てはまる生徒を求めます。

- 1 本校の校風を理解し、意欲的に学校生活を送る生徒
- 2 体育・スポーツの分野における科学的な理解に関心があり、その分野への進学や就職等、将来について明確な目標をもつ生徒
- 3 運動部活動やスポーツ活動について、優れた資質を有する生徒や顕著な実績をもつ生徒
- 4 基礎学力が身についており、部活動と学業の両立を目指す生徒
- 5 地域社会との連携に根ざした学習活動や探究活動に意欲的に取り組む生徒

特に、特色選抜においては、上記3、4を重視します。

(8)結果通知等

- ①校長は選抜の結果を、3月14日(木)午後3時に、第一次募集結果通知書(様式G)及び合格通知書(様式H)を中学校長に通知する。
- ②合格者の発表は、3月14日(木)午後3時に本校において行う。
- ③合格者に対する入学準備物の受取についての文書及び簡易開示についての文書は、3月5日(火)学力検査終了後に受験者に直接配布する。

利府高校受験における入学願書の記入方法

今年度より、普通科受験生もスポーツ科学科を第2志望とすることが可能になります。スポーツ科学科を第2志望とする場合は、スポーツ科学科受験生と同様に専攻実技試験を受けることになりますので、次の記入方法の通りに記入してください。

【スポーツ科学科受験生】

入学願書の第2志望の右の余白に、専攻実技を記入してください。

〈スポーツ科学科のみ志望する受験生〉

入 学 願 書			
宮城県利府 高等 学 校 長 殿		令和6年 月 日	
(校)			
本人氏名		(昭和 年 月 日生)	
(本人署名又は記名押印)			
保護者(又は保証人)氏名			
(本人署名又は記名押印)			
貴校 (全日制・定時制) 課程 (スポーツ科学) 科 (部) に入学を志願いたします。			
本人	現住所	〒 ()	
	在学(出身)中学校	昭和 年 月 卒業見込・卒業 平成 令和	
		電話番号(県外の場合のみ記入) () -	
(又は保証人)保護者	現住所	〒 ()	
		電話番号 () -	
第2志望	科	コース部	硬式野球

陸上競技(短距離走, ハードル走, 長距離走, 走り幅跳び, 走り高跳び, 投てき)

ハンドボール(コートプレイヤー, ゴールキーパー)

サッカー(フィールドプレイヤー, ゴールキーパー)

ソフトテニス(前衛, 後衛)

水泳(競泳, 飛込)

ソフトボール(投手, 内外野手)

バレーボール(スパイカー, セッター・リベロ)

については専攻実技名と(種目・ポジション)の中から一つ選んで記入すること。

硬式野球, 硬式テニス, ラグビー, バスケットボール, 卓球, フェンシング, 剣道, 弓道, 新体操 は専攻実技名のみを記入すること。

〈普通科を第2志望とするスポーツ科学科受験生〉

(又は保証人)保護者	現住所	〒 ()	
		電話番号 () -	
第2志望	普通	科	陸上競技(短距離走)

【普通科受験生】

〈普通科のみ志望する受験生〉

入 学 願 書			
宮城県利府 高 等 学 校 長 殿 ()		令和 6 年 月 日	
ふ り が な 本 人 氏 名 (本人署名又は記名押印)		(昭和 平成 年 月 日生)	
ふ り が な 保護者 (又は保証人) 氏名 (本人署名又は記名押印)			
貴校 (<u>全日制</u> ・定時制) 課程 (普通) 科 () <u>コース</u> に 入学を志願いたします。			
本 人	現 住 所	〒 ()	
	在学(出身) 中 学 校	昭和 平成 年 月 令和 卒業見込・卒業	
	電話番号(県外の場合のみ記入) () -		
(又は保証人) 保護者	現 住 所	〒 ()	
		電話番号 () -	
第2志望	科	コース 部	

〈スポーツ科学科を第2志望とする普通科受験生〉

入学願書の第2志望の右の余白に、専攻実技を記入してください。

(又は保証人) 保護者	現 住 所	〒 ()	
		電話番号 () -	
第2志望	スポーツ科学	科	コース 部
			陸上競技 (短距離走)

陸上競技(短距離走, ハードル走, 長距離走,
走り幅跳び, 走り高跳び, 投てき)

ハンドボール(コートプレイヤー, ゴールキーパー)

サッカー(フィールドプレイヤー, ゴールキーパー)

ソフトテニス(前衛, 後衛)

水泳(競泳, 飛込)

ソフトボール(投手, 内外野手)

バレーボール(スパイカー, セッター・リベロ)

については専攻実技名と(種目・ポジション)の中から一つ選んで記入すること。

硬式野球, 硬式テニス, ラグビー, バスケットボール, 卓球, フェンシング,
剣道, 弓道, 新体操 は専攻実技名のみを記入すること。